

ゆいの森あらかわ 開館一周年

3月26日に開館一周年を迎えるゆいの森あらかわは、これまで60万人を超える方が来館しました。中央図書館・吉村昭記念文学館・子どもひろばのほか、ゆいの森ホールや、現代俳句センター、ゆったりと本を読めるカフェやテラスもあります。
開館一周年を記念し、さまざまなイベントを開催しますので、ぜひご来館ください。

講演会

作家・逢坂剛氏講演会

開成学園出身で、吉村昭氏の後輩にあたる逢坂剛氏は、昭和61年に「カディスの赤い星」で第96回直木賞を受賞されました。平成26年にテレビドラマ化された「舌」シリーズの原作者でもあります。

■期日 3月25日(日) ■時間 午前11時30分～午後1時
■会場 ゆいの森ホール ■定員 100人(申込順)

「ゆいの森あらかわ」計画から実現まで(座談会)

■期日 4月8日(日) ■時間 午後2時～3時 ■会場 ゆいの森ホール
■定員 100人(申込順) ■内容 ゆいの森あらかわの魅力



▲逢坂剛氏
(撮影・林漢泉氏)

落語会

吉村昭氏ゆかりの学習院大学落語研究会による落語をお楽しみください。

■期日 3月17日(土)
■時間 午後2時～4時
■会場 ゆいの森ホール
■定員 100人(申込順) ■内容 落語、お囃子、大喜利



▲昭和26年10月・学習院大学文芸部主催の古典落語鑑賞会(前列右から3番目が吉村昭氏)

子ども星空学習

春の星座と太陽系の惑星について学びます。

■期日 4月21日(土)
■時間 午後2時～2時30分
※開場は午後1時30分
■会場 ゆいの森ホール
■対象 小学生以上の方
■定員 100人(当日の先着順)



東京メトロの春まつり

■期日 3月18日(日)

■時間 午前10時～午後3時(受け付けは午後2時30分まで)
■会場 1階エントランス・ゆいの森ホールほか ※直接会場へ
■内容 こども制服撮影会、交通マナー教室、ミニゲーム



申込方法 ゆいの森あらかわ1階総合カウンター・右記ホームページで

申込み問合せ ゆいの森あらかわ ☎(3891)4349
HP <https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp/>

俳句を楽しみませんか [問合せ] 文化交流推進課 ☎内線2522

第7回「あらかわ俳壇」入選作品発表

「第7回あらかわ俳壇」には、351句の投句がありました。

選者

荒川区俳句連盟会長 佐々木忠利氏

特選選評

目にしたものは返り咲いた花「今日の色明日に重ねて」と、情感の深さを引き立てている。しみじみと心に触れる明日への期待と希望にも通じるものである。作者の返り花に対する挨拶ともとれる礼賛の一句であろう。

特選

今日の色明日に重ねて返り花

(東尾久・寺田千賀子さん)

入選

紅葉散る流転の旅の一粒那

(江東区・三田忠彦さん)

小夜時雨笑顔のまままで目覚めけり

(西尾久・細田昌子さん)

短日や灯の帯走る中山道

(西日暮里・坂本久男さん)

草庵の籬にぼけの返り花

(町屋・小池恵美子さん)

中高生俳句バトルin開成

俳句甲子園で過去10回の優勝経験をもつ開成学園と、全国から集まる俳句強豪校が対戦の様子を観覧します。

【期日】 3月11日(日)
【時間】 午後2時～5時(開場は、午後1時10分)
【会場】 開成学園小講堂(西日暮里4-2-4)
【定員】 300人(当日の先着順)
【参加校】 開成学園、岩手県立水沢高等学校、神奈川県立横浜翠嵐高校、名古屋高等学校、立教池袋中学校

都電DE俳句

区のPRラッピングを施した都電の車内で俳句講座を受講した後、荒川自然公園で吟行し、ゆいの森あらかわで句会を開きます。

【期日】 3月16日(金) 【時間】 午前10時～午後3時
【集合・解散場所】 都電三ノ輪橋停留場 【定員】 15人(抽選)
【講師】 俳人・佐々木忠利氏 【費用】 700円(昼食代)
【締切】 3月2日(金)必着 ※当選者には参加証を送付します
【申込み】 はがき・ファクス・下記ホームページで、イベント名、代表者の住所・電話番号、参加者(2人まで)の氏名・年齢を、〒100-8502(住所不要)東京新聞広告局営業推進部「都電DE俳句」係へ ☎(6910)2483 FAX(3502)7227
HP <http://www.haikunomachiarakawa.com/>

